

健康と光線

病気は正常な

機構からの逸脱

私事になるが、病院で勤務医として過ごした十六年間は骨髄移植に明け暮れた暮らしであった。その端緒となったのは、医師になって間がないおよそ三十年程前に、血液を造れなくなる再生不良性貧血という病気の治療に双子（一卵性双生児）の弟から骨髄の提供を受けて骨髄移植を行ったことである。当時の骨髄移植は、今と比べると未発達で、実験的な意味合いの濃い治療法であり、一般臨床で用いられることは殆どなかった。その上、私も骨髄移植について疎な知識を持ち合わせていなかったが、移植が成功すれば助けられるかも知れないと考え家族に同意を求めた。患者の父親は産婦人科の医師であったが、新米医師の私に、任せるからやってくれ、と言ってくれ、海外で勤務していた双子の弟を呼び戻してくれたのである。この症例

がわが国における再生不良性貧血に対する同系骨髄移植（一卵性双生児間の移植）の最初の成功例となったのであるが、それからは骨髄移植の適応があれば、主として家族の中から提供者を選んでも同種骨髄移植（人から人への移植）を行った。骨髄移植をして成功例もあれば失敗例もあったが、ここでこの話をしたのは、移植が成功して提供者の骨髄細胞が生着した際の効果には目を見張ったことを話したかったからである。前に述べた例では移植が成功すると同時に全ての所見が速やかに正常値に戻ったことは言うまでもないが、白血病患者でも移植骨髄が生着すると、それだけで抗白血剤の効果も遥かに越えた極めて強い抗白血病効果を示したことは正に驚きであった。そこに正常人が持つ強い抗病力を見たのである。

医学で正常という、一般には検査成績に異常がなければ正常な程度の意味で使われることが多いが、真に解明すべき正常の本体は、明瞭な抗病力を示す正常な機構である。

光線で正常な機構を取り戻す

今の私は、勤務医として勤めた期間と光線療法を通して人々に接するようになってからの期間が半ばする。言うまでもなく光線療法とオールマイティーではないが、光線療法をしていて後悔することは微塵もない。その最大の理由は、光線療法によって現在の先端医学でも救えない患者を救えたことがある。正直に言うと、父を通して光線療法のことを多少は知っていた

発行所

〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

太陽に自然の恩恵を感じる人は健康に恵まれる(その4)

— 光線の大恩に謝す —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

用を学べば、光線が正常な機構を維持し高める上で不可欠なものであり、健康を保持するためだけでなく病気の治療に於いても必要不可欠なものであることも疑いを挟む余地はない。正常な機構を取り戻すために光線

としても、医学生として、あるいは勤務医として過ごした時に得た医学常識のために、光線療法の効果に懐疑的なところがあった。しかし実際に光線療法を経験して、医学常識を越えた効果を認めることも稀でないことを確信できたのである。今、盛んに行われている薬物療法や手術療法にない効果を認め、患者に喜んで貰えるのは何物にも変え難い喜びである。

光線療法をしていると、いわゆる現代医学の欠点が見える気がする。特に薬がなく手術が出来ないとなると治療法はないと決め付けて憚らない、自然治癒力を無視した態度は傲慢である。少なくとも光線が地球の生態系で果たす役割や生体に及ぼす作用を学べば、光線が正常な機構を維持し高める上で不可欠なものであり、健康を保持するためだけでなく病気の治療に於いても必要不可欠なものであることも疑いを挟む余地はない。正常な機構を取り戻すために光線

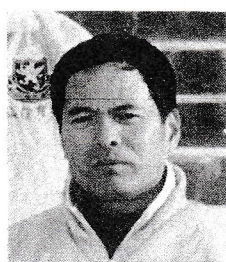
療法を大いに活用すべきである。

光線党宣言

今、正しい光線療法の啓蒙、普及のために東奔西走しているが、自分の仕事という私的な枠を遥かに越えた、人々の健康に直結する大問題と自惚れでなく思っている。それは現代人が、各人の自らの生理機能、換言すれば正常な機構を正常に作動させることによって病気に闘うと言う姿勢を忘れていくからである。特に強調したいのは、文明が自然との調和を忘れて環境を破壊したように、薬物療法で症状を改善しようとして却って正常な機構を乱すことも決して少なくないにも拘わらず、症状の改善を以て今の医学は理論的に正しいと医師を始め全ての人が信じていると言っても過言でないことである。私にはどこか間違っているように思えてならない。この点、光線療法は決して正常な機構を乱さない。むしろ正常な機構を最大限に働かせる治療法である。嘗て日光療法を生涯の仕事としたロリエが太陽国全権大使と呼ばれたように、私はこれからの残りの人生を光線療法一筋に生き抜くことを誓い光線党を宣言したい。無論、諸兄のご協力がなければ目的達成は到底不可能であり、これからご指導ご鞭撻を切に願います。

光線療法の効果にびっくり…

— 二階堂邦博女子チーム監督に聞く —



二階堂邦博監督

きき手

仙台サナモア
治療院

小川 美行

小川 平成五年

十二月二十八日

京都で行われた

全国高校駅伝で

は、監督の率い

る女子チームだ

けでなく、男子

チームも見事な

走りで優勝しま

した。おめでと

うございます。

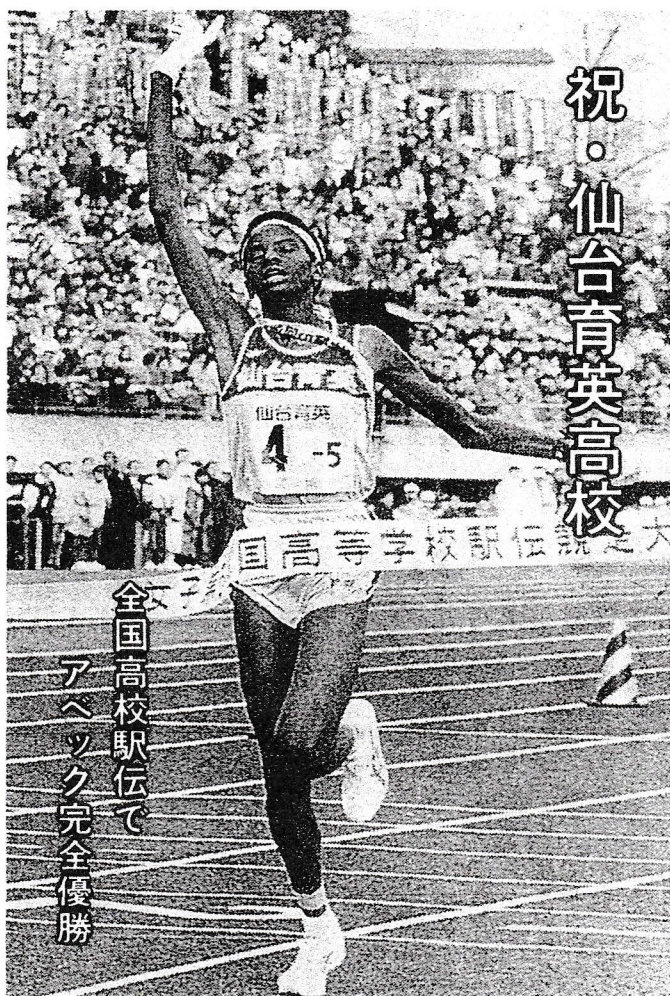
ところで、今回の駅伝優勝の陰

には、ケニアからの留学生の大

活躍がありました。監督は彼

ら、彼女らについてどんな印象

祝。仙台育英高校



全国高校駅伝で

アベック完全優勝

高校最高記録でゴールするジュシント選手

平成5年12月27日(月) 産経新聞から

をお持ちでしょうか。

二階堂 そうですね。一言で言

えませんが、トレーニングを始

め、すべてに向上心を持ち、礼

儀正しく、思いやりのある生徒

達です。

小川 私も素直で素晴らしい高

校生だ、と思っています。

二階堂 その通りです。

小川 とところで、ケニアからの

留学生のジュシント選手が足の

故障で走れなくなったのが切っ

掛けになって、陸上部の選手の

健康面での管理に光線療法を取

り入れることになりましたが、

彼女の足の故障はどんな具合だ

ったのですか。また光線療法を

する前に、どんな治療を受け、

その効果はどうでしたか。

二階堂 ジュシント選手は一昨

年の五月に来日したのですが、

六月に疲労骨折を起こしました。

それで八月の合宿まで、外科の

治療、ハリ、灸、電気治療など、

あらゆる処置をしましたが、こ

れと言った有効な治療はありま

せんでした。しかし、二ヶ月の

休養期間で骨折部分も治り、ジョ

ギングは出来るようになったの

ですが、九月になって反対側の

足に骨膜炎を起こし、炎症部の

周囲がむくんで来ました。

小川 あまり効果はなかった、

と言うことですか。

二階堂 今、お話しした通り、

いろいろな治療を試みたので

すが、全く効果はありませんで

した。

小川 そうですか。で、その間

ジュシント選手の様子はどうで

したか。

二階堂 大変ショックを受けて

いました。精神的なダメージは

大きく、見ていて本当に可哀想

でした。特に同じケニアから一

緒に来たエスタが、いろいろな

大会で良い成績を収めていまし

たからね。

小川 丁度、そんな時に光線療

法を始めたわけですね。そうす

ると、苦しいときの神頼みなら

ぬ、困ったときの光線頼みで光

線療法を始めたようなものでは

(三面へつづく)

(二面よりつづく)

二階堂 まあ、そんなようなものですよ。

小川 光線療法を受けさせてみよう、と思ったのは。

二階堂 男子チームの監督をしている私の弟(二階堂勉氏)から、陸上部の卒業生の渡部君が太陽光線の治療をしているから

(仙台サナモア治療院に勤務)、ジェシント選手の治療を頼んでみたらどうか、と勧められたのが光線療法との出会いになったのです。

小川 監督としては、薬をも掴む、と言うような心境で光線療法を始めたわけですね。ところで、実際に光線療法の効果を経験するまで、光線療法についてどんな印象を持っていましたか。具体的に言えば、その効果に大いに期待していたか、正直に言って余り期待していなかったか、どちらですか。

二階堂 はっきり言って申し訳

ありませんが、せいぜい気休めの感じで、殆ど期待はしていませんでした(笑い)。

小川 大抵の人はそうなんです(笑い)。でも何はともあれ、ジェシント選手は光線療法を始めました。その結果は、監督から見てどうでしたか。

二階堂 びっくりしました。わずか二日間の治療で骨膜炎の周囲のむくみが全くなかったのには驚くばかりでした。そして何と三日で骨膜炎がすっかり治ったのには信じられませんでした。

小川 予想した以上に大変な効果があつた、と考えて良いですか。

二階堂 全くその通りです。

小川 その後に陸上部としても、選手の健康管理に光線療法を取り入れて頂いた。

二階堂 そうです。

小川 ジェシント選手以外にもケニアからの留学生がいますか、

光線療法を活用し始めた前後で、練習時の故障とか競技の成績とかを比較して、監督のお気付きの点があればお聞かせ戴けますか。

二階堂 私はケニアから二人の女子留学生を預かっています。二人には故障の予防として週に二、三回光線療法をしています。その結果、故障が大変少なくなりました。また筋肉痛などでマッサージを受けても、治りが大変早くなり助かっています。

小川 監督はケニアの留学生だけでなく、日本人選手にも光線療法をしていますか、光線療法を取り入れる前と取り入れた後で、何か違いに気付いたことはありませんか。

二階堂 特に気付いた点は、光線療法を取り入れてから、選手の間が良くなり、故障者が殆どなくなったことです。そんなこともあって、皆が楽しい

雰囲気です。トレーニング出来るようになったことですね。

小川 スポーツに伴って起こるさまざまな故障の予防に役立っている。

二階堂 そうです。選手にとって常に走れる身体にしておくことが、記録向上の絶対条件ですから、故障の予防はおろそかには出来ません。その点、光線療法は最高の療法だと思っています。

小川 怪我についてはどうでしょうか。例えば、怪我の治り方などで気付かれたことはありますか。

二階堂 怪我には、自分の不注意からのものと、記録が向上する中で弱い部分が痛むものがあります。光線療法を定期的

にしている者としていない者と比べると、いずれの場合でも、治るまでの期間が全く違っていることがよく分かります。

小川 スポーツの能力面での向

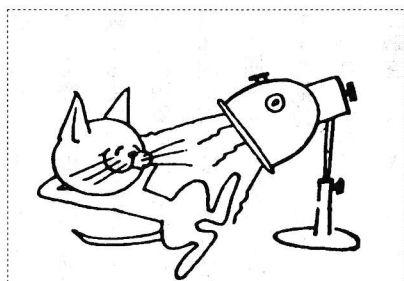
上について成果はありましたか。

二階堂 当然のことですが、健康でトレーニングの出来る日数の多い者ほど記録は向上します。その面で光線療法は役立っていると考えております。

小川 これからも光線療法を大いに活用して、全国の競技会で育英旋風を巻き起こして戴きたいと思っています。最後に、監督が光線療法に期待していることをお話し頂けますか。

二階堂 光線療法を自分のチームだけのものとせず、他にも普及に努め、指導者の意識を高揚させ、日本全体の記録が少しでも向上出来ればと考えておりますので、大いに期待しております。

小川 これからも仙台育英高校陸上部が大いに活躍されることを期待しております。どうも有難うございました。



— 治 験 例 報 告 —

☆気管支喘息

症例 46歳 男性 会社員

症状 四十歳を過ぎた頃より、季節の変わり目になると、気温が僅かに変化しても体調を崩し悪性の風邪を引いた時のように夜間に咳込むようになり、そのため欠勤することもあって気になっていった。その度に近所の診療所の医師に診て貰っていたが、今回は夜中に咳込んで眠ろうとして横になると息苦しいため起き上がったてしまう状態が続き、眠れないこともしばしばで、なかなか回復しないので呼吸器科の専門医を受診した。医師は胸部の聴診で肺に喘鳴が聞き取れるので気管支喘息の疑いがあると言いい、病因について精密検査を受けるように指示した。その結

果、家のホコリやダニが原因のアレルギー性気管支喘息と診断され、治療については長期にわたる減感作療法の必要があると言われた。

この間の事情を知る友人に、早く良くなりたいのなら、病院の治療に平行して光線療法をやってみたらきつと効果があると思う、と勧められて来所した。

身長1m68cm、体重62kg
療法経過 ABカーボンで、開放で足裏30分、膝10分、次に集光器を使用して喉10分、鼻10分

再び開放で背20分、腰10分、腹10分、それぞれ照射した。

初回治療をしてから二日おいて二回目の治療のために来所したが、その折りに咳が少し楽になったようだ、と言っていた。三回目からは治療器を購入して自宅での治療に移行したが、三日程してから、症状が却って悪くなったようだ、と不安を訴えてきた。陽性反応と思われるから心配ない、そのまま続けるようにと指示する。自宅治療を始めて十日目頃には陽性反応も消えて夜間に起こす呼吸困難の発作も軽く楽になった。三週間過ぎには発作は一日に二、三回位になり、それからは夜中に時々咳込んで目を覚ますことはあっても、息苦しくて起き上がるようなこ

とは無くなった。四ヶ月後には軽い咳はあっても呼吸困難の発作で苦しむことは全くなくなり、安眠できるようになり、食欲も増して体重も三キロ増えた。

気管支喘息で呼吸困難の発作を起こすとき余りにも苦しいので、とかく発作を抑えることばかりを望んで薬に頼りがちであるが、大切なのは自然治癒力を高めて発作を起こさないように体質から改善を図ることである。

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL0七八一三三二一三五六

☆肺気腫

症例 55歳 女性 主婦

症状 今回報告する症例は、昭和六十一年一月十一日に気管支喘息の光線治療を希望して当院に始めて来所されてから、これまで通院治療を行ってきたが、この間、呼吸困難を伴う喘息症状が改善し緩解に向かうと治療を中断することを繰り返してきた例である。

当初、昭和六十二年五月には喘息症状は改善し緩解に向かっていたのに治療を中断した。平成四年四月に喘息症状の再燃があり治療を再開したが、再度緩解に向かうと治療を中断した。これ以外にも、寒くなると喘息

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッとしたり、サナモアA、B、C、Dと効果が同じという根拠も無いような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、ご注意下さい。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついてます)

東京光線療法研究所

発作を繰り返していたと言いが、来所していない。

平成六年になって、買い物などで外出した際、少し重い物を下げて歩くだけで息苦しくなるため、同年一月二十一日に病院を受診し検査を受けたところ、呼吸容積の減少、肺機能の低下を指摘され、気管支喘息に由来する肺気腫と診断されたと言った。

患者は光線治療をして身体が芯から温まると呼吸が楽になり、怠けて休むと息苦しくなると言っている。治療を始めて一ヶ月程してから、動作に伴う息苦しさも改善したが、本症は根気良く治療するしかないことを話し引き続き治療中である。

療法経過 今度はいっかり治療をし、途中で止めないことを念押ししてから始めた。

カーボンは容体を見ながらAとAを組み合わせて用い、二台の治

療器で二灯照射した。まず側臥位で、尻10分、顔5分、胸5分、腰10分、膝5分、足首5分、腹10分、足裏10分、背5分照射してから、仰臥位で左から甲狀腺部10分、右から胸部5分、横腹5分、右から甲狀腺部10分、左から胸部5分、横腹5分、左右から同時に膝5分照射した。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL0四四一七二二一五〇六七

はじめに

光線を浴びることによって、気管支喘息で見られる呼吸困難を伴うさまざまな発作が軽快し、

光線療法による気管支喘息の治療経験

社団法人 神奈川県療術師会 海 渡 一二三

光線療法を行った本症患者16例について治療成績を検討した結果、光線療法が単に喘息の発作を鎮める補助療法としてだけでなく、体質改善を通して予防面

発作の回数が減少し、発作の持続時間が短縮することはかねてより知られており、古くは日光療法の時代から気管支喘息の治療に応用されてきた。演者も気管支喘息の治療にカーボンアーキ灯(サナモアカーボン使用)を用いて光線療法を行い顕著な効果を認めているが、今回、昭和四十六年から平成二年の間に演者の治療院で

症例	年齢	性別	初診年月日	初診時の現症	喘息型
1	67	女	S46年 5月	呼吸困難発作は夜間に強く、喘鳴を伴う。	発作型
2	61	男	S47年 1月	苦しくて動けない状態で来所。時に発熱	通年型
3	60	男	S47年 6月	運動性。外回りで疲れると発作を起こす。	発作型
4	57	女	S47年 9月	様々な匂が発作を誘発。起坐呼吸を伴う。	発作型
5	56	女	S47年 9月	外因性。特に溶接で生じるガスで起こす。	発作型
6	4	女	S48年 1月	発作性に喘鳴を伴う夜間呼吸困難がある。	発作型
7	65	女	S48年12月	咳、呼吸困難があり、入退院を繰り返す。	通年型
8	29	女	S49年 5月	特に夜間に喘鳴、呼吸困難発作を起こす。	発作型
9	7	男	S49年10月	起坐呼吸を伴う発作性夜間呼吸困難。	発作型
10	6	男	S49年10月	起坐呼吸を伴う発作性夜間呼吸困難。	発作型
11	35	男	S50年 2月	発作は夜間に強く、決まって腹痛を伴う。	発作型
12	21	女	S50年 6月	夜間に喘鳴を伴う呼吸困難発作を起こす。	発作型
13	42	女	S52年12月	夜間呼吸困難がある。屋は健康人と同じ。	発作型
14	4	女	S54年 7月	夜半に咳、喘鳴、呼吸困難発作を起こす。	発作型
15	51	女	H1年 1月	呼吸困難に加え、精神的に不安感が強い。	通年型
16	52	女	H2年 1月	症状に強弱はあるが、咳や痰が持続する。	通年型

図1

△症

例▽

にも効果のあることを示唆する所見を得たので報告する。

対象

図1に対象として16症例の年齢、性別、初診年月日、初診時の現症、喘息型を示した。

対象例の年齢は67歳から4歳まで広範囲に分布するが、内訳は成人12例(男性3例、女性9例)、小児4例(男児2例、女児2例)である。なお全ての対象例の気

症例	年齢	型	初診効果発現までの期間	当院の治療期間	効果
1	67	発	四日目に痰の切れが良くなり喘鳴治まる。	二カ月	有効
2	61	通	五日で微熱がとれ、自力通院可能になる。	六カ月	有効
3	60	発	十日目頃から発作が減少し緩解に向かう。	十カ月	有効
4	57	発	二十日目頃から外因性に対し抵抗性で癒える。	九カ月	有効
5	56	発	溶接業が自営のため、発作を繰り返す。	十カ月	無効
6	4	発	三日目より日に日に発作が軽くなる。	一ヶ月	有効
7	65	通	体力衰退が著しく、通院困難と判断した。	七日	無効
8	29	発	五日で夜半の発作が著しく楽になる。	三カ月	有効
9	7	発	四日目で夜中に苦しむことが少なくなる。	一ヶ月	有効
10	6	発	五日で痰の切れがよく、呼吸が楽になる。	一ヶ月	有効
11	35	発	約四十日で発作が減り、腹痛も改善した。	八日	有効
12	21	発	約一ヶ月の治療で発作は殆どなくなった。	二カ月	有効
13	42	発	五日目に呼吸が楽になる。	十三日	有効
14	4	発	三ヶ月の治療で発作を起こさなくなる。	月に一回来所	有効
15	51	通	発作が改善されず。重症と判断し中断した。	二十三日	無効
16	52	通	十日目頃から咳や痰が少なくなる。	一ヶ月	有効

発：発作型 通：通年型

図2

△治療効果▽

管支喘息の診断は医師によってなされたものであり、光線療法を受ける前に抗喘息薬による治療を受けた経験がある。

これらの症例の気管支喘息の発作について、初診時に聴取した現症から、発作的に呼吸困難を起こすと訴える発作型と、時を選ばずに常時発作を起こす通年型に分けると、成人例では発作型8例、通年型4例であり、小児は全例発作型である。

成人の発作型では呼吸困難を伴う発作は夜間に限らなかつたが、相対的に夜間の呼吸困難発作が強く、起坐呼吸を伴うと訴えたのが、症例1、症例8、症例11、症例12、症例13の5例である。残りの3例の発作は外因性で、症例3は運動によって、症例4は様々な匂いによって、症例5は溶接作業に伴って生じるガスによって発作が誘発された。通年型と考えられたのは、

治療法

症例2、症例7、症例15、症例16の4例であるが、発作型と比べると重症感があり、精神的にも不安感が強い印象を受けた。小児の4例は、何れも夜間呼吸困難と起坐呼吸を主訴とする発作型である。

当院での治療は、同時に二台の光線治療器を使う二灯照射法で行った。カーボンは主に光線の全波長を比較的均等に放射するAカーボンをを用い臥位で照射した。照射部位ならびに照射時間は、側臥位で、肛門、目を閉じて顔、喉、腰、膝、腹、足裏後頭部、背に各10分照射し、次いで仰臥位で、左右から腋下、肩、腹、膝に各10分照射した。このように全身照射を基本にして治療することが効果を得易い。また発作が軽快してからは、あるいは自宅治療に移行してからは、AカーボンとBカーボンの組み合わせも用いた。なお患者の容体によって、照射部位、照射時間を変更したこともあるが、基本照射は必ず行うように指示した。

(六頁に続く)

成績

(五頁よりづく)

図2に対象16症例に対し光線

療法を行った結果を示した。成人では発作型8例中、症例1、症例3、症例4、症例8、症例11、症例12、症例13の7例で発作が軽快したが、通年型は4例中、症例2、症例16の2例でしか効果を認めなかった。これら成人有効例9例の効果発現までの期間は四日から四十日間であったが、7例で一ヶ月以内に自覚的な症状の改善を認めており、一ヶ月以上を要したのは2例であった。特に十日以内に6例で効果が表れているが、このように早期に効果を認めるのが特徴である。小児では4例とも発作型であるが、当院に通院した症例6、症例9、症例10では五日以内に効果が表れており、症例14は通院不能のため最初から自宅治療で月に一回経過を見るために来所させたが、この症例も三ヶ月で発作を起こさなくなり、全例で明らかな効果を認めた。なおこれらの有効例は、当院での治療を中止した後も自宅での光線療法を続けるように指導しているが、何れの症例も効果に満

足している。

無効として治療を中断したものは3例であるが、それぞれについて考察する。症例5は家業が電気溶接業で仕事が多忙なため仕事から離れることが出来ず、その上にアレルギー性鼻炎を伴っており、十ヶ月間治療をしたが効果を得られず治療を中断した。症例7はかなり重症で入院した。繰り返しており、食欲がなく日に日に痩せて体力の衰弱が著しいため、通院は困難と判断し七日間で治療を中断した。症例15はアレルギー性鼻炎やリウマチ様の全身の関節痛などを併発しており、二十三日の治療で夜間の呼吸困難発作が緩解に向かわないため大事をとって治療を打ち切った。

考案ならびに結語

気管支喘息の患者数は、大気汚染の進展、住宅環境の変化、ストレスなど様々な要因があつて今でも増加しており、発作死亡例も増えている。これに對し、治療や予防という問題になると現代医学でも満足する成果は得られていないとされている。

一方、今回報告した症例は何れも光線療法を始めてから三年以上経過観察を続けているが、無害有効な治療法として再評価

に値する成績が得られたと考えられる。殊に早期から発作が軽快した例では、その後も比較的順調な経過をとっており、殆ど発作を起こさなくなった症例もある。また特に小児期の気管支喘息に光線療法は著しい効果があったが、これは恐らくアレルギー性の滲出性素質に奏功するためであろう。

これまでも光線療法が呼吸器系に及ぼす作用として、紫外線の作用で呼吸を深めて肺の換気量を増し、呼吸数を減じ、酸素利用率を高める効果のあることが知られており、気管支喘息の発作を鎮める即効性の効果が期待できるため、補助療法としての有用性は指摘されていた。然るに演者は光線療法を長期に継続すること、体質面から改善した症例を経験した。これにはビタミンDやカルシウムの免疫応答を調整する作用が関わっている可能性があるが、今後の検討に待つ点も多いものと思われる。演者はこれらの治療成績から、気管支喘息に對し光線療法は試みる価値のある有用な治療法と考へ報告した。

平成五年十一月十四日、日本療術学会(ホテルセントラーザ博多)で報告されたものを要約した。



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見えないが可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に應じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙、普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三—五二八二

(本紙の無断転用を禁止します。)